

施策13	生涯にわたり学習できる環境の充実	主管部長(課)	地域振興部長(文化観光課)
		関係部長(課)	教育委員会事務局次長(江東図書館)

1 施策目標

江東区の目指す姿										
区民が主体的に生涯学習に取り組み、習得した成果を地域に活かせる環境が整備されています。										
施策実現に関する指標(代表指標)										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
趣味や学習などに取り組んでいる区民の割合		%	9.8	7.4	7.6	7.1			20	文化観光課
指標選定理由		生涯学習への区民の参加状況を客観的に示す指標であるため								
分析	達成度	◆新型コロナウイルス感染症の影響による制約の中でも、感染症対策を講じた上で様々な講座を開講し、また、こどもプラザ図書館の開館や各図書館での特色ある事業展開など行ったが、指標値の向上にはつながっていない。今後はさらにオンラインを活用した講座の実施等、新たな形での学習機会の提供や電子図書館サービスの導入を通し、誰もがいつでも生涯学習に参加できる環境を整え、指標値の向上を図っていく必要がある。								
	*									
施策コストの状況										
種別		4年度予算	4年度決算	5年度予算	6年度予算					
トータルコスト		4,723,508千円	4,426,690千円	4,202,426千円	3,561,635千円					
事業費		4,428,888千円	4,170,489千円	3,906,444千円	3,250,667千円					
人件費		294,620千円	256,201千円	295,982千円	310,968千円					
《参考》施策を取り巻く状況(社会状況/国・都の動向)										
◆コロナ禍における外出自粛等を契機に、電子図書館等、ICTを活用したサービスの充実に対する需要が高くなっている。										
◆令和元年6月に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)」が施行され、障害の有無に関わらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられる環境整備を一層推進する必要がある。										
◆国は30年6月に「第3期教育振興基本計画」を閣議決定し、生涯学習に関する基本的な方針を「生涯学び、活躍できる環境を整える」とし、「人生100年時代を見据えた生涯学習の推進」「人々の暮らしの向上と社会の持続的発展のための学びの推進」「職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進」「障害者の生涯学習の推進」の4つを具体的目標として掲げた。										
◆国は30年4月に第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」を、都は3年3月に「第四次東京都子供読書活動推進計画」を策定する中で、小・中・高校生の不読率の改善を課題として挙げている。										

2 施策目標の達成に向けた具体的な取組方針

取組方針1	生涯学習の促進
主な取組	学習機会の提供及び地域への還元
取組内容	◆古石場文化センターにおける「江東区文化観光ガイド養成講座」の開講や、深川江戸資料館の展示解説ボランティアの育成等、江東区の歴史や文化について学び、受講後はガイドとして地域のために活躍できる場を提供する。
主な実施事業	地域文化施設管理運営事業
取組方針2	図書館サービスの充実
主な取組	江東区立図書館経営方針に基づく図書館(11館およびサービスコーナー1か所)の運営
取組内容	◆電子図書館サービスの導入により、時間や場所にこだわれない読書活動を支援するとともに、電子図書館の媒体を活用して江東区立図書館のPRを行うことで図書館の利用促進を図る。また、区立小中学校、義務教育学校の児童・生徒に貸与された1人1台端末が自動接続できるWi-Fi環境を全館で整備し、地域情報拠点としての機能充実を図る。 ◆有明スポーツセンターレストラン施設跡地を活用してこども向け図書館を整備し、こどもをはじめとして区民の読書活動や学びを支援していく。また、開館より26年を経過した東雲図書館の大規模改修を実施する。
主な実施事業	図書館管理運営事業、(仮称)有明こども図書館整備事業、東雲図書館改修事業、図書館読書活動推進事業、学童疎開資料室運営事業

3 取組方針の実施状況

取組方針1	生涯学習の促進	主管部長(課)	地域振興部長(文化観光課)							
		関係部長(課)								
<p>「生涯学習」は、学校教育や家庭教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など、様々な場や機会において行う学習であり、区民ニーズ・利用者数を踏まえた、文化センター等の事業展開を図るとともに、区内大学、NPO、民間団体、学校等とも連携しながら推進していきます。また、リカレント教育に取り組むなど、生涯学習に関する普及啓発を充実させるとともに、区民の誰もが好きな時に学ぶことができる場を創出していきます。さらに、誰もが参加できる多様な学習の場・機会の提供や生涯学習団体等の継続的な活動に対する支援を充実させ、あわせて、区民が主体的に学習、習得した成果を地域に活かす仕組みづくりに取り組みます。</p>										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
学習や講座から得られた学びを地域活動や仕事に活かしている区民の数		人	285 (30年度)	311	304	268			370	文化観光課
指標選定理由		生涯学習における過程や活動成果を地域に生かす仕組みづくりを客観的に示す指標であるため								
分析	達成度	◆語学講座や地域理解講座を修了した受講生がボランティアとして活躍できる場を提供する取り組みを行ってきた結果、深川江戸資料館等でボランティアガイドとして携わる人がこれまで増加していたが、ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響や深川江戸資料館が施設改修に伴い休館したため人数が減少した。								
	*									
取組コストの状況										
種別		4年度予算	4年度決算	5年度予算	6年度予算					
トータルコスト		2,484,251千円	2,245,820千円	1,516,919千円	1,628,612千円					
事業費		2,459,405千円	2,224,180千円	1,487,310千円	1,610,450千円					
人件費		24,846千円	21,640千円	29,609千円	18,162千円					
成果と課題										
◆新型コロナウイルスの影響による制約の中でも、感染症対策を講じた上で様々な講座を開講し、誰もが参加できる学習の場を提供した。										
◆改修に伴う施設の休館や新型コロナウイルスの影響が重なり、学習成果を地域に還元する実績はやや停滞している。今後は、引き続き講座等の内容を充実させ、区民が主体的に学び地域で活躍できる機会を提供していく。										

取組方針2	図書館サービスの充実	主管部長(課)	教育委員会事務局次長(江東図書館)								
		関係部長(課)									
<p>中央館(江東・深川図書館)と各地域館との役割分担と連携により、開館日の増、開館時間の延長を定着させ、利用者の利用機会の拡大を図ります。また、利用者のニーズや地域特性を踏まえ、各館の特徴を活かした特色ある図書館サービスの提供に取り組むとともに、学校等教育施設や子育て・高齢者支援施設など地域資源との連携を深め、魅力的な図書館の実現と、人と情報が出会いイノベーションが生まれる地域情報拠点としての図書館機能の強化を図ります。なお、こども図書館の移転整備においては、子ども家庭支援センターとの連携による新たなサービス展開を進めるとともに、こどもたちが本の魅力や読書の楽しさに触れるきっかけづくりのため、こどもの成長段階に合わせた継続的な働きかけに取り組めます。</p>											
指標											
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課	
図書館来館者数(年間)		千人	3,289 (30年度)	2,632	2,973	3,173			3,750	江東図書館	
指標選定理由		図書館における活動の成果を客観的に示す指標であるため									
分析	達成度	◆新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、こどもプラザ図書館の開館や、各図書館での特色ある事業展開などサービス計画に基づく取り組みにより、指標の向上に繋がっている。									
	*										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課	
図書館が学びの場として役立っていると感じている区民の割合		%	70.6	69.9	72.7	72.1			75	江東図書館	
指標選定理由		利用者ニーズや地域特性を踏まえた学びの場づくりにかかる区の取り組みに対する効果を客観的に示す指標であるため									
分析	達成度	◆全館で実施する図書館利用者アンケートや江東区政世論調査の結果の分析等を通して、利用者や区民のニーズを把握し、図書館運営の改善やサービスの向上に活かす取り組みを強化する必要がある。									
	4 (順調)										
取組コストの状況											
種別		4年度予算	4年度決算	5年度予算	6年度予算						
トータルコスト		2,239,257千円	2,180,870千円	2,685,507千円	1,933,023千円						
事業費		1,969,483千円	1,946,309千円	2,419,134千円	1,640,217千円						
人件費		269,774千円	234,561千円	266,373千円	292,806千円						
成果と課題											
◆区の取り組みは概ね順調に推移しているが、図書館を取り巻く環境の変化や区民ニーズが多様化する中、地域の情報拠点としての機能強化が求められている。											
◆図書館が区民の学びの場として機能するために、電子図書館サービスなどの新たな取り組みの効果や実績を検証しながら、「江東区立図書館経営方針」に定める「目指すべき図書館像」の実現に向けた取り組みを着実に進めていく。											

4 一次評価《主管部長による評価》

<p>総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆新型コロナウイルスの影響による制約の中でも、感染症対策を講じた上で様々な講座を開講し、誰もが参加できる学習の場を提供した。 ◆図書館は、更なるサービスの向上のため、こどもプラザ図書館を開館するなど特色ある事業実施ができた。
<p>今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆コロナ禍を経て、オンラインを活用した講座の実施等が定着してきていることもあり、新たな形での学習機会の提供を増やすとともに、引き続き、生涯学習団体等の活動を支援し、区民自らが蓄積した知識を還元できる仕組みづくりを検討していく。 ◆図書館利用者のニーズの多様性を踏まえつつ、「江東区立図書館経営方針」に基づき、新たな取り組みを着実に進めながらサービスの向上を図っていく。

5 外部評価委員会による評価

<p>(令和4年度外部評価実施済施策)</p>

6 二次評価《区の最終評価》 ※4年度の外部評価結果を反映した評価について太字で表記してあります。

<p>総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆指標については、主にコロナ禍におけるイベント開催の制限等により、計画策定時の現状値から低下している。 ◆行政サービスの再開に伴い、施策が目指す江東区の姿の実現及び指標の向上に向け、下記について着実に取り組む必要がある。
<p>実現に向けた取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆生涯学習の促進について、社会状況の変化を捉え、ニーズの把握や、成果の測定方法を明確にし、区民が主体的に学習、習熟した成果を地域に活かす仕組みづくりを進める。 ◆図書館においては、地域特性など各館の特色を活かしたサービスの提供を引き続き行うとともに、人口動態や区民ニーズ等の分析を踏まえた改善について検討する。 ◆各種講座についてオンラインと対面のハイブリッドで実施するなどICTのより一層の活用を進めることで受講者の利便性を確保し、生涯学習への区民の参加を増やすよう努める。